

取組の概要

- 計画作成主体：帯広市農業再生協議会
 対象品目：長いも（産地面積 540ha）
 主な取組主体：帯広市川西農業協同組合
 成果目標：販売額の10%以上の増加
 基準（H23～27年度5中3） 1,269,541円/10a
 目標（H32年度） 1,518,201円/10a
 導入施設等：整備事業（農産物処理加工施設）
 （長いも冷凍とろろ製造施設）
 （集出荷貯蔵施設）
 （洗浄選別設備、包装設備）

北海道
帯広市

帯広市川西町、芽室町、
中札内村、足寄町、浦幌
町、新得町、清水町、池
田町高島、鹿追町



推進体制

帯広市、十勝川西長いも
運営協議会、(株)ヤマト
フーズ、マルコーフーズ(株)

帯広市農業再生協議会
①計画の策定・管理
②取組計画への助言

指導・助言

情報共有

・協議会と取組主体との情報
共有（取組状況等）
・行政機関（帯広市）等による
サポート体制

取組主体（JA帯広かわにし）
①取組計画の作成
②取組実施 等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・地域9JAで広域産地を形成し、年間を通じた安定供給体制を構築
- ・台湾への輸出を開始し（H11～）、太物の大口需要先確保による販売安定化
- ・選果場でSQF（食品安全システム）認証を取得し、更なる安全・安心を目指す

ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

地域特産で重点作物の長いもについて、ブランド力と生産ロットを活かした販売強化を図るため、外食産業等で需要の高い冷凍とろろの増産と実需者が求める選果・出荷体制の構築が課題となっていた。

このことから、産地での一貫した冷凍とろろの製造・販売体制の確立や実需要望に応じた選果・出荷体制を整備し、農家所得の向上と販売額の増加を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

- ①ほ場選外品や選果規格屑等を有効活用するための農産物処理加工施設整備を支援
- ②実需者が求める選果・出荷体制（一本袋詰め）を構築するための集出荷貯蔵施設整備を支援

期待される事業効果

【事業実施による直接効果】

- ①原料の有効利用や産地での一貫した生産製造・販売体制の構築による冷凍とろろの安定生産
- ②実需者要望に応じた選果・出荷体制の整備による販売単価の向上
- ③農家所得の向上と販売額の増加による更なるブランド化と産地強化の実現

【事業実施による間接効果】

- ①オカズ使用量減による出荷コストの削減

